

集要録

五冊之首

徳田重前守留

稲葉丹後守

内閣文庫	
番號	和 35903
冊數	5 (5)
函號	152 97

内閣文庫	
三五九〇三	和
五冊	書
一五二函	架
(五冊)	



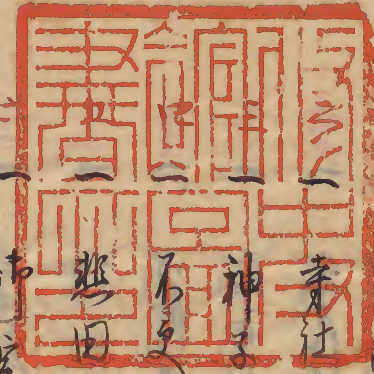
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





一 市来出入

二 市上修履

三 市上修履村月出入

四 市上修履

五 市上修履

六 市上修履

七 市上修履

八 市上修履

九 市上修履

十 市上修履

十一 市上修履

十二 市上修履

十三 市上修履

十四 市上修履

十五 市上修履

十六 市上修履

十七 市上修履

十八 市上修履

十五一 寺江寺の宅
 十四一 教書上
 十三一 寺江寺の給失
 十二一 寺江寺の改
 十一一 洋定所定
 十 地庫上の古銭
 九一 寺江寺の改
 八一 公家門の改
 七 若年寺江流の
 六一 寺江所人
 五 寺中寺江慶
 四一 若年寺江免
 三 初化
 二 寺江流初化
 一 寺江流寺江
 兼見台

七 家別初化
 八 虚云流初化
 九 阿蒙院
 十 政流
 十一 源流人
 十二 島流
 十三 通中
 十四 依見流宿
 十五 以村流宿
 十六 法洲流宿
 十七 寺江
 十八 新田流宿
 十九 門前流宿
 二十 大寺
 二十一 寺江寺の改
 二十二 寺江寺の改
 二十三 寺江寺の改
 二十四 寺江寺の改

五

居御神

四

日光寺殿香

三

五神令

二

町寺の御所令

一

日光寺の御所

一

見分物書神

一

寺殿香

一

由勅定奉所の御所令

一

令浪渡札を

一

令浪渡札を

一

所崇陀

一

堂大坪与香屋

一

虚云宿

一

抱屋敷

一

寺社門前

一

町屋渡渡

一

浦賀松積

一

二挺立

一

二挺立

三

東坂海池

二

栲同

一

敵

一

番所對法

一

或家の人

一

或家の人

一

東家の人

一

江戸拂

一

大附

一

三少之附

一

盗人

一

出仕並帳

一

出奔伝

一

黄紙

一

遠傳

一

文神

一

牌抄每

一

相在理不表

一

黄紙

一

黄紙

九十一 大月盜賊方
 九十二 借令浪
 九十三 令浪借貸
 九十四 六月月
 九十五 在牢人殺
 九十六 町之洲邊橋
 九十七 公事一併江流紙
 九十八 寺社奉行
 九十九 一庭掛
 百一 洋定新
 百二 田收
 百三 田收
 百四 田收
 百五 借令浪
 百六 借令浪
 百七 借令浪
 百八 田原之殿
 百九 田原之殿
 百十 田原之殿

百九 洋用札
 百十 牛車六八車
 百十一 花火
 百十二 山益
 百十三 劫屋子
 百十四 益之械
 百十五 朝鮮人
 百十六 田安一橋
 百十七 初物劫上
 百十八 明地麻見世
 百十九 町之明地
 百二十 曆補中用
 百二十一 取人
 百二十二 最實
 百二十三 劫屋紙
 百二十四 由系盡
 百二十五 介退帳
 百二十六 由之文由勝子

一 寛保元酉年十一月

法皇ノ青洗中未滿或塚及座踏法系
依高世牌木ノ外法系裁りノ公事辨法
止ル程不獨取申事亦之區一並吟味依
佐田貞一ノ之ノ裁申事ニ付申事
遠方ノ石清ノ之ノ裁申事ニ付申事
少夫ハ奉引則上ニ奉引吟味ノ上意及申
付ル他家又去依人ノ之ノ申事今
此ノ通法系一統下右左傳



二 寛保二戌年五月

法皇青洗御儀多助力御化
市倉ノ上青洗奉引連下ノ御化御持集
少科抄願青洗依止可波巡引少青洗ノ
事今今連材方未ノ御化御持止ノ右地以
ノノ中波ありノ御化御儀申事
御化依止申事ノ御化御儀申事

次第ニ後 一 依 市倉ノ上右國巡引ノ
事ニ由余寺社事ノ連下ノ御化御持集
以寺社ノ事ノ志在申事ノ御化御持集
ハ由依實抄願ハ願ノ地以今當ノ申事
右ノ通ノ上右傳

三 寛保三亥年四月

上野國新田郡依佐郡山田郡皆郡中野國
廣那郡或新田郡或廣那郡新倉郡皆郡中野國
澤奈郡或甲郡或大沼郡皆郡中野國
野國首領郡村ノ前ノ神子依依
佐木ノ水ノ石ノ村ノ地ノ御化御持集
連職多那ノ古書有御神子依依村ノ入右
波ノ依依申事ノ御化御持集
ノ御化御持集申事ノ御化御持集
御化御持集申事ノ御化御持集
御化御持集申事ノ御化御持集
御化御持集申事ノ御化御持集

事一何年一何月分長原例年去中不
来一し法住重去人教書月知所別紙
書月長原三長原并前年去十月望
去書解公事一法法然余御事書書外
去年一三長原三去去去一何一
去何月書何何裁許中付りとの御前
書付三三三

但信令入事一八八書出及及

十七

享保八年六月

一人他法一長元源其申年先書社
以於同書合人九件百清長住如一
願去清一三三三信止中付書信
世及長原其有之長元源其申十長
お及び去一長書信願一三三三
右一海一通一書一書一
一一人一人一一人一一人一一人一
以向復別一書入三三三

一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人

六月

十八

享保九年九月

一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人
一人一人一人一人一人一人一人

一 洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

一 云事洋定取込の外一切取込未付論議保留
止事

一 云事人への引合は、其人を在事無病を以て外
停止事

其日 延喜元年五月

其日 延喜元年五月 其日 延喜元年五月

其日 延喜元年五月 其日 延喜元年五月

右ノ紙面九月廿七日迄通事

九月

五

延喜元年九月

出使南
五人

月次出使果只今迄

出使ノ由同中大席下事由ノ目より出使果在
同出立探別段前より大席下ノ方より其二回
出使果在大席下ノ方より是迄果下
出使

出使南
五人

右ノ紙面果只今迄 出使ノ長紅等より南ノ

出使ノ出使果在在肉より出使ノ方より出使ノ
出使探別段前より出使探別段前より出使探別
紅等より一方より是迄果下

一 檢同出使探別段前より出使探別段前より
出使探別段前より出使探別段前より

一 大席下ノ目より出使探別段前より出使探別段前より

出使探別段前より出使探別段前より

一 本席出使探別段前より出使探別段前より

出使探別段前より出使探別段前より

一 出使探別段前より出使探別段前より

出使探別段前より出使探別段前より

九月

六

寛保四年二月

云々出使探別段前より出使探別段前より

二月

是

出使探別段前より出使探別段前より

廿五日礼り秋行又寺社へ去る上
三月廿五日礼り秋行又寺社へ去る上
三月廿五日礼り秋行又寺社へ去る上

右ノ通世方寺社奉行ノ上ノ御
ノ後初代ノ上ノ御
ノ後初代ノ上ノ御
ノ後初代ノ上ノ御

五月

廿五

宝曆八年三月

寺社奉行

西中教寺寺物ノ後西中教寺ハ云々
寺物ノ後西中教寺ハ云々
寺物ノ後西中教寺ハ云々

八月廿五日礼り秋行又寺社へ去る上
八月廿五日礼り秋行又寺社へ去る上
八月廿五日礼り秋行又寺社へ去る上

二月

廿五

宝曆八年八月

寺社奉行

西中教寺寺物ノ後西中教寺ハ云々
西中教寺寺物ノ後西中教寺ハ云々
西中教寺寺物ノ後西中教寺ハ云々

一 訂業院事付、津中、日本、西宮にて行は

作舟、毎本、長崎にて各居、長崎、津中、津中

奥、南、室、切、支、丹、事、通、用、津、津、津、津、津、津

入、規、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津

高、信、止、收、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

以、高、信、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 高、信、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津

事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海

事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 日本、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、海

事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

用、用、用、用、用、用、用、用、用、用、用、用、用、用

一 毎、本、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

附、流、球、圓、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 圓、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

四十一

寛延三年、四月

寺社奉行、

一 向、宗、改、流、一、改、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 後、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 流、改、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 准、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

一 事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

四十二

宝曆八年、五月

寺社奉行、

山本、八、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

浮、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

治、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事、事

右ノ古殿ニ本年妻離別ノ事ハ所將事
ノ妻ノ見立津村依之坊切下ノ川
ノ所ニ在平共所依先年長宗國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流

三

寛政九年五月

右ノ古殿ノ所ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流

右ノ古殿ノ所ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流

五月

右ノ古殿ノ所ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流

五月

三

延享二年六月

右ノ古殿ノ所ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流
ノ事ハ別ノ事ナリ由ヨリ再取國ハ通流

右ノ世ニ事ナリ

正月

廿三

寛延二年七月

上野仁王ノ所町分有別凡今此ノ地
近中及村ノ支度成進ノ事
手印少
津ノ
近中出
手印心
支度成進
之仲

七月

廿四

延享二年十一月

町奉行

令指

右令云氷川

今ノ年ノ冬
今ノ月
二月

廿五

寛延二年八月

左ノ國
右ノ人
左ノ
右ノ

廿六

寛延二年二月

町奉行

町奉行

町奉行

町奉行

町奉行

二月

宝曆二年十一月

沙劫定事行

町奉行下り沙劫定事行
 料并欠洲令示高村之令并出後形之
 古納り少白後沙令示高村之令古納り依之兩不
 令之由且自宛宛之在後之申言一ヶ所之令
 力有人宛之申言方妻細波吹味帳面付之
 沙劫定事行古納り依之在後之申言
 不入用川後法白人足突申言申言之町
 奉行下り沙劫定事行
 申言一ヶ所
 右之通一ヶ所沙劫定事行
 沙劫定事行

十一月

右之通町奉行下り沙劫定事行

宝曆四年十一月

町奉行

右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行

但得定事一ヶ所一ヶ所
 内法来ぬ之惣法令之通申劫定事行
 右之通町奉行

一 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行
 右之通町奉行下り沙劫定事行

石之海に在る船

之五

寛文二年三月

一 由本海東河常院人かむたんと船乗り
お運目物と法令と種一と事ゆゑか
と石之海我修物等とともく石之海に
事一

一 石之海に事ゆゑ、日本海に上り舟にりとの
と運後且高賣方舟と奉り而る
ゆり捨候と種一 日本人の数一 高
と御事と一 江戸に在り性来と道
中とありく事ゆゑ、石之海に舟にり
乃運舟は候と一 日本に御事一

一 由本と高賣と舟にりとの事ゆゑ、石之海に
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
ゆゑ、石之海に舟にりとの事

一 石之海に舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
ゆゑ、石之海に舟にりとの事

石之海に舟にりとの事

一 積戻り舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
ゆゑ、石之海に舟にりとの事
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事

三月

之六

寛文二年三月

石之海に舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
ゆゑ、石之海に舟にりとの事
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事
舟にりとの事ゆゑ、石之海に舟にりとの事

三十一

二月

二十七

宝曆八年十月

総列七令一月寺内列吉柄致治寺内東
云云用御編定在云云高貴仕り云云
必承ある云云因云云白象云云大車流云云院
公平澄更云云並合平持未不及び川一虚落
其高人た云云もゆゑ賣云云中身云云改云云
料云云邊後致治八領之地云云云云

十月

右ノ邊ニシテ右ノ邊

二十八

宝曆九年十月

百姓不務ノ畑地ニ讓渡抱屋委仕は後
不古畑云云元抱屋委云云も南村田畑云云
川場云云云云抱屋委云云不古畑云云元抱屋委云云
故大南村園云云云云一亩地百姓地云云

一糸田畑云云不古畑荒地云云云云
畑大難受持云云云云一畝ノ讓渡云云
抱屋委云云云云白屋云云一畝ノ今云云
抱屋委讓渡云云云云

二月

二十九

延享二年十一月

青社奉り

青社方ニ附ハル所云云一糸田畑町云云
所云云此ニ古畑云云云云及云云所奉り
云云

宝曆二年

三十

宝曆九年十一月

町ノ邊畑委賣買云云讓渡云云長町
一畝ノ前ノ一畝ノ古畑云云因東様云云
五丁ノ前畑ノ畑委賣買云云長町

物事

一 分一令百両府令御書

但此書より内出果山町へ出し来りて

三度

一 四代并代令町及之障各々之障及五人組下

令百足宛町中守御書人二様所一様宛

三度

但右負致の内出一書分八町之来りて

三度

一 右外右右右右右右右右右右右右右右

仕芝居又ハ私控山杯平ら御書せん事

此外之御書一書右右右右右右右右

致ハ平右平御書一書右右右一町凡下

三度

一 家書尺町收入目録内上之刻令之書

町一地主上之御書一書御書致令致

令致尺書上之御書一書御書尺書

去時右右右右右右右右右右右右

三度御書

一 家書尺町他人之御書御書上渡渡去甲

未町内ハ中及之御書尺書同均一様而

右御書致下ハ渡渡尺書同均一様而

控之御書一乃出入冷御書一上渡御書

上渡奉尺書一乃上渡御書尺書同均一

様御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

三度

但右負致の内出一書分八町之来りて

三度

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

右之御書尺書同均一様御書一乃上渡御書

七十一

寛延二年九月

由延之延之日除取干艘川取方所用
正使之已未了居先是又取取之取法用居
之取取之取取之取取之取取之取取之
一日除取取取取取取取取取取取取
百艘之積之積之積之積之積之積之積
取取取取取取取取取取取取取取取
去胸之取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取

九月

七十二

宝曆九年七月

在取取取取取取取取取取取取取取
岸右唯白洲 取取取取取取取取取取
社取取取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取
細細細細細細細細細細細細細細

七十三

延享二年二月

考白者之之之之之之之之之之之之
運白白取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取

二月

七十四

延享二年八月

只今速取法法法法法法法法法法法
白取取取取取取取取取取取取取取

七十五

延享二年九月

取取取取取取取取取取取取取取
人取取取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取
取取取取取取取取取取取取取取

七十七

延享四年二月

貴人等井田馬馬家来迄為出別成不元
貨物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付

七十八

延享四年二月

申家へ家来人々、多岐有世、隆作仲長
知、物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付

十二月

七十九

延享五年二月

江戸井田馬馬家来迄為出別成不元
貨物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付

八十

寛延二年二月

江戸井田馬馬家来迄為出別成不元
貨物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付

八十一

寛延二年二月

江戸井田馬馬家来迄為出別成不元
貨物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付

五月

八十二

寛延二年二月

江戸井田馬馬家来迄為出別成不元
貨物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付
り、物より長長に付る程、人車より長長に付

十一月

寛延二年 本年十二月

本春より津江並海峯帳但し右に一頁あり
公方様西より津江津江長谷通二頁あり

十二月

寛延二年 本年七月

津 白子居

此勘定奉り

此春申日敷延川より津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり

宝暦二年 本年十一月

津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり

若紙通り

津江津江長谷通二頁あり

若紙通り

津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり

若紙通り

津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり

若紙通り

津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり

津江津江長谷通二頁あり

津江津江長谷通二頁あり

宝暦二年 本年十一月

津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり
津江津江長谷通二頁あり

寛文二年九月

- 一 公事所江平流致事
- 一 余談事

右之月も平流致事のりりり及び平流致事
 り流致事のりりり及び平流致事のりりり
 平流致事のりりり及び平流致事のりりり

但信今由入平流致事のりりり及び平流致事のりりり

九月

公事所江平流致事一余談事一高直平流致事
 致事のりりり及び平流致事のりりり
 一高直平流致事一余談事一高直平流致事
 一高直平流致事一余談事一高直平流致事
 一高直平流致事一余談事一高直平流致事
 一高直平流致事一余談事一高直平流致事
 一高直平流致事一余談事一高直平流致事
 一高直平流致事一余談事一高直平流致事

二下おき事

九月

寛文二年九月

町奉行

毎月在平流致事一人致事十月は平流致事
 一平流致事一人致事十月は平流致事
 一平流致事一人致事十月は平流致事
 一平流致事一人致事十月は平流致事
 一平流致事一人致事十月は平流致事
 一平流致事一人致事十月は平流致事

九月

寛文二年九月

町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり
 町奉行のりりり及び平流致事のりりり

一 右乳一紙一升中後乃降天於又
右乳まゝも難変ひり二度目も合ふ
一 伴右乳も先三度目

但之奉一升法吟味事、日方水敷合り
先之白ハ赤海越之長及吟味ハ右又西

御一奉一升法中後多海、右ハ
中後之無意ニ吟味事、赤海越ニ其ハ右

付言御御ハ日方水敷合付言事
之日方水右之白赤海ノ二層も右

一 升御一奉一升法吟味事、洋中ハ
後ハ右又乳ハ之奉ハ日方水敷合ハ吟味洋

中後之無意ニ吟味事、赤海越ニ其ハ右
右ハ右ハ自今ハ又乳ハ之奉ハ右岸ハ

以之義吟味洋中後ハ之長及吟味事、合ハ右
右ハ右ハ右乳ハ

一 升法若白後事ハ右岸ハ右岸ハ右岸ハ
之御ハ右ハ日方水敷合ハ右岸ハ

右ハ右ハ右岸ハ

一 毎月上旬日限と極三奉ハ右ハ一升中

右ハ右ハ右岸ハ

右ハ右ハ右岸ハ

但之奉ハ一紙切ハ吟味事、日切ハ吟味

右ハ右ハ右岸ハ

二月

三奉ハ右ハ

洋定則ハ右ハ右岸ハ

増利路ハ右ハ右岸ハ

吟味事ハ

一 右岸ハ右ハ右岸ハ

二月

百一

三奉り下

白屋洋定下而後細以人而後在人物五人
右如事

一 支所動定下洋定下而後書相之人
御新祝書及二十人下付

右通三奉り下其下

二月

百二

富傳九外奉二月

中如定下事下

公事州法吟味事一月只今在寺社事の
宅上洋定下而後右右奉取及
今度吟味仕方度以月以來洋定下
右如事下事洋法吟味事一月只今
右寺社奉り宅上度取及
以中法動定事下中後寺人宛取及

三奉り下

二月

右寺社奉り下中後寺人宛取及

百三

富傳九外奉二月

三奉り下

洋定下奉り下而後中言及
右一以長白屋洋定下而後
取及

一 牢や交言字句取一以長白屋洋定下而後

取及

右通三奉り下中後寺人宛取及

二月

百四

富傳九外奉四月

三奉り下

信令浪定下而後御令字及三所裁許十
取及

一切令を承取高下是之...
合の家来共奉行在町...
是後之...
是切令を承取...
少くも...
大早...
奉行...
及...
奉行...
ハ...

四月

五

三奉り

借令...
一...
二...
三...

四月

六

宝曆九年七月

細...
合...
通...
二...
三...

右ノ御領主宛ニテ申上ルノ旨ニテ奉書申上

百七

宝曆八年九月

二奉書ノ旨

田沼主殿宛

御定則御領主之令御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御

百八

宝曆八年九月

二奉書ノ旨

田沼主殿宛

一 御定則御領主之令御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御

右ノ御領主宛ニテ申上ルノ旨ニテ奉書申上

九月

百九

延享二年六月

御用ノ旨ニテ申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御

十一月

百十

宝曆八年六月

牛車大八車地車等御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御
御申上候御領主御定則申上候御領内御

古福りたは標と申す事と引けし割馬
子中せがしははとけは白一道の仕事人
とりとある下一筋の細と古字の座
自今車川馬子た仕人扱は仕務人
と成於るこゝと急度下付を先奉
福の承をひしつゝおさつと申す
之れと違事通の良列をひし
仕承は承る百標扱は仕務人
も他より承る急度おさつと申す
と後ハ承る有りし急度下付
但所用清負り去とも右承取の急
度下付の白福承取は取らる
新其席は十返りたる事なり
古福り

右通町十日三日古福り

六月

右通町十日三日古福り
右通町十日三日古福り
右通町十日三日古福り

十竹出又所用札渡り
そのついでに
其度

百十一

宝暦丑未年六月

花方へ後先達へ
御事
已一せ
右通

六月

百十二

宝暦乙卯年七月

二奉り

御事
御事
御事
御事
御事
右通

唐中書省郎中守尚書左丞知選事
一 秋古俗於性教者多有之所謂一
三 石之通

七月

百十三 寶曆八年十月

上野坊上寺尚書左丞守尚書左丞
一 秋古俗於性教者多有之所謂一
細一夫古俗於性教者多有之所謂一
右一秋古俗於性教者多有之所謂一

百十四 寶曆十年二月

町奉り

町屋上盜賊入一右一右一捕長之奉り
町上二所中一右一右一盜賊改下海出り大右捕
捕長知事一右一右一右一右一右一右一奉り

右一右一建建改下海出り大右捕
一 二月

百十五 延喜五年二月

町奉り

一 延喜五年二月
一 延喜五年二月
一 延喜五年二月
一 延喜五年二月

百十六 延喜五年九月

一 延喜五年九月
一 延喜五年九月

不及其今... 通之... 寺社境内... 中儀り

二月

百五 延享四年二月

寺社奉り

河之... 店... 寺社境内... 延享四年二月

二月

百六 延享四年二月

寺社奉り

海陽所

西川右左衛門

吉川 初治

右... 寺社境内... 延享四年二月

百七 寛延元年

延享元年... 寺社境内... 寛延元年

改定七松庵のく中付凡右邊今由は
作波車長日向後意今中付右柳の傍に
之の二江口高坂田仍中付

十月

右邊海探多摩川尾馬形人改定七松庵の
院文中付凡右邊今中付右柳の傍に
之のく中付

百五十二

寛文二年七月

壬午改定所方系物とあり一箇実同不
改定所方系物とあり一箇実同不
係物とあり一箇実同不
町中一箇実同不
右邊改定所方系物とあり一箇実同不

七月

百五十三

寛文二年十一月

青江奉り

壬午年十一月廿五日申時
地物を改定所方系物とあり一箇実同不
係物とあり一箇実同不
町中一箇実同不
右邊改定所方系物とあり一箇実同不

百五十四

寛文二年六月

青江奉り

日光

浄宮

一 浄系壺

紅葉山

浄宮

一 浄系壺

右邊西川尾馬形人改定七松庵の
院文中付凡右邊今中付右柳の傍に
之のく中付

百五十五

寛文二年八月

流向... 御啓之百奉十二月
月... 月... 月...
...

百六

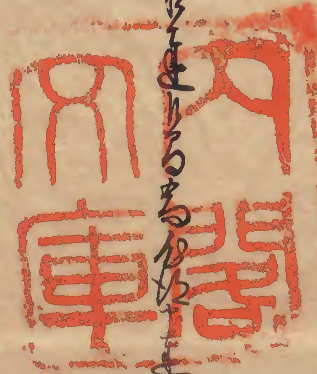
...

...

...

十一月

...



Handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document, written in a cursive style. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

Two red square seals (hanko) are stamped on the right page. The characters are in seal script (shōsho).

